



—東地中海地域ニュース—

トルコ：武器売却停止等に関する駐米トルコ大使の発言他

(1日付現地紙)

1. 在米トルコ大使の発言

8月31日、ナムク・タン (Namik Tan) 駐米トルコ大使は、記者会見において、概要以下の通り発言した。

- (1) 米国政府は米国議会におけるユダヤ人ロビーの影響を受け、トルコに対する武器売却を停止した。
- (2) オバマ政権は、トルコ政府によるイランの核問題に関する制裁決議への反対やトルコ・イスラエル間の関係悪化を受け、リーパー (Reaper) 無人機やコブラ型急襲ヘリコプターの売却に関する合意を米国議会に送らなかった。
- (3) トルコは米務省に対し、本件に対する懸念を伝えた。
- (4) 先週、米国を訪問していたシニルリオウル・トルコ外務次官は米当局に対し、北イラクの PKK 指導者の拘束に向けてより確固とした方策をとること、米国が欧州各国に対して PKK との戦いに協力するよう促すことを求めた。

2. アナトリアン・イーグル多国間空軍演習

1日付現地ヒューリエット紙は、トルコ政府が10月に行われるアナトリアン・イーグル多国間空軍演習に、イスラエルを除く数カ国に対して参加を呼びかけたのに対し、米国はトルコ政府に対し、イスラエルが招待されないのなら、米国は参加しないと伝えたと報じた。